

第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会  
2015年6月13日(土)～14日(日)  
@つくば国際会議場(茨城県つくば市)

ワークショップ 33	
タイトル	明日から使えるインスリン治療のABC!～インスリン治療実践編～
日時	6月14日(日) 13:30-15:00
企画責任者	三澤 美和 (委員会企画:糖尿病員会)
定員	48名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b></p> <p>糖尿病委員会企画です。「内服薬を適切に使っても良好なコントロールが得られない。」 「インスリン導入が必要かもしれないが、外来での使い方がわからない。」外来でよく生じる疑問だと思います。インスリン治療が必要だと判断しても処方や手技指導、スタッフのマンパワーやフォローアップなど、躊躇してしまう要素はたくさんあることと思います。今回のWSでは次の日から自信をもって外来インスリン導入できるように、インスリン導入初級編として、①インスリン治療が必要かどうかの判断材料、②実際のインスリン処方例、③手技指導の実際、④スタッフ教育のヒント、⑤フォローアップのヒントなどを盛り込み、必要な患者様へのインスリン導入を実践できるスキルの獲得を目的とします。</p> <p><b>【概要】</b></p> <p>外来でのインスリン導入をこれから実践したい医師や、ふだん患者教育・手技指導に関わる看護師、薬剤師、栄養士さんなどのコメディカルにも参加いただける内容です。手技指導の実際では、インスリン製剤や血糖測定器を実際に触って、注射器の大きさ、使い勝手や注意点を実体験していただきます。普段はスタッフ任せになって、なかなか自分では触る機会のないインスリン製剤を「見て触って」導入のヒントにしてください。インスリン外来診療の初級を主なターゲットとしていますが、ベテラン医師、ほかどの職種の方でも歓迎いたします。</p>	